

令和4年度 港川こども園 職員自己評価シート（保育教諭等）

行動指針に対する状況を記入します。（1(あてはまらない)⇔ 3 ⇔5(とてもよくあてはまる)） ※評価の平均値は（少数点第2以下四捨五入）

※評価の計、合計の値は、全ての保育教諭の計、合計の値の平均値を表しています。

行動指針		評価の平均値
1 教育・保育目標に基づく学級経営の充実		評価点の計（最大値35）
		26.1
1	園の教育・保育目標及び教育課程に基づいた学級経営を実践し、定期的に評価・改善している。	3.3
2	学級目標を具現化し、意図的かつ計画的な学級経営と保育実践を行っている。	3.5
3	一人ひとりの幼児を大切に、幼児同士も互いの良さを認め合える学級となっている。	4.1
4	幼児の主体的・自発的な活動ができるよう適切な援助を心がけ、環境構成を工夫している。	3.9
5	学級のことについて、他の職員とも積極的に情報交換を行っている。	3.9
6	室内外の環境構成について、日常的に点検するとともに改善がなされている。	3.5
7	保護者の理解を得ながら、特別な支援を要する幼児の個別の指導計画、個別の教育支援計画を立案をし、実践する。	3.9
2 教育・保育の質の向上		評価点の計（最大値50）
		33.0
1	園内カンファレンス等を通して、多面的な幼児理解をしている。	3.5
2	相互に保育参観を行い、教育・保育を高め合っている。	2.4
3	週日案の中で日々の保育や記録を振り返り、評価・改善をしている。	3.4
4	研修会や研究会には自己課題を持って参加したり、専門書を読んだりしながら自己研鑽に励んでいる。	2.7
5	幼児の自発的な活動を促す環境構成となっているか振り返り、改善を行っている。	3.4
6	保幼こ小の連携の中でそれぞれの保育・教育内容について理解し、円滑な接続に取り組んでいる。	3.4
7	小学校と連携して接続期のカリキュラムを活用した実践を行い、公私連携型こども園としての役割を意識しながら保育所・私立幼稚園・私立こども園と連携し、教育・保育課程をつなげている。	3.1
8	必要に応じて個別の支援計画・指導計画を作成し、障がいの状態に応じた指導の工夫をしている。	3.9
9	職員同士で共通理解を図り、連続性のある教育・保育を行っている。	3.9
10	幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解を深め、それに基づいた保育を実践している。	3.3
3 子育ての支援の充実		評価点の計（最大値35）
		25.0
1	家庭との連携を密に行い、個々の幼児の家庭での生活の様子を把握できるようにしている。	3.8
2	クラスだより等で、教育・保育の内容やねらい、子どもの様子等をわかりやすく伝え、子育てや幼児理解に必要な情報を発信している。	4.0
3	学級懇談会や保育参観等において、保護者同士のつながりがもてるような場を提供している。	2.4
4	日々の情報交換や個人面談等で子育てについて保護者の悩みを聞き解決に向けて丁寧に対応している。	3.5
5	事故や問題が起きた場合に保護者への説明や対応が迅速かつ確である。	4.1
6	不適切な養育や虐待を受けている疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防について、保護者向けに子育ての情報提供及び関係機関との連携を図っている。	3.5
7	家庭と連携しながら食べて・動いて・よく寝ようを推進し、基本的な生活習慣の形成を目指した援助を行っている。※生活習慣アンケートの活用	3.7
【取組状況に関するコメント】		評価点の合計（最大値120）
【保育教諭の意見等】		84.1
<p>①外クラスの保育参観をする機会が少なかったのもっと園内研修で取り入れていけると良いと思う。②外部研修などに参加して保育知識を高めていきたい。また、保育教諭同士の保育観を共有してより良い保育環境の構成を行ってきたい。③前年度に比べて、職員間の連携（報連相）は取れているように感じた。園内研も何度か行う事ができて良かった。保育の仕方、子どもとの関わり方、声かけの仕方などの研修もあると思う。（不適切保育）④これまでと違い、コロナによる制限が多かった場面も多々あり、多少評価に影響の出た項目もあったと思う。⑤これから子ども達が自主的・自発的に動けるように環境づくりを心掛けていきたい。⑥職員と連携を図りながら保育の質の向上に努め、子ども達と保護者とより良い関係を築いて、充実した保育ができるようにしたい。⑦子ども達一人ひとりと向き合い、丁寧な関わりができるようにしていきたい。⑧支援児の援助を主に行っているため、クラス全体の保育を行う際、主任の経営に基づいて行っている。そのため個々の家庭把握にばらつきがあると感じた。⑨クラスないの事は話し合っているが、他のクラスの事はわからない事が多いので、気になることは自分から積極的に声をかけて聞いていきたい。⑩職員同士での共通理解をしているつもりでもできていない事が多々ある。日々のミーティング後しっかりと情報共有ができるようにしたい。⑪日々の保育に追われ保育を見直す時間もないので時間をとって見直していきたい。⑫しっかりと1時間の休憩もとれ、午後保育もシフトがあるため見直しをもって保育を進めることができるのでとても良いと思う。月1の職員会議ではもっと意見を出し合えると良いと思う。⑬クラス間の共通理解があまりできていないように感じます。⑭相互保育参観ができなくて残念だった。保育を高め合うために他の保育教諭の保育も見たいと思う。⑮コロナも落ち着いてくと思うので、保護者や小学校との関わりが持てる機会があるととても良い環境ができると思う。</p>		
【自己評価シート（保育教諭等）の分析及び課題】		
<p>・日々の職員同士の情報交換が適切に行われ保育に生かされている。（教育・保育目標に基づく学級経営の充実 問5、教育・保育の質の向上 問9）</p> <p>・家庭との連携して、園児の成長を共有しながら保育を提供することができている。（子育ての支援の充実 問1、問4、問5）</p> <p>・特別な保育を要する幼児が多い中で、個々の発達に応じた保育を実践できた。（教育・保育目標に基づく学級経営の充実 問7、教育・保育の質の向上 問8）</p> <p>・保育教諭は幼児一人ひとりを尊重し、信頼関係を育む中で主体的な活動ができるように環境の工夫を行うことができた。（教育・保育目標に基づく学級経営の充実 問3 問4）</p> <p>・保育教諭同士の保育参観の機会が少なく、教育・保育の向上に向けての取り組みを高めることが難しかった。（教育・保育の質の向上 問2）</p> <p>・小学校生活に向けて接続期のカリキュラムを港川小学校と連携を図りながら保育を行っているが、コロナ禍ということもあり、近隣の保育施設との連携を深めていくことができなかった。（教育・保育の質の向上 問6）</p> <p>・保育計画では、保育参観やPTA活動等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、中止や行事縮小となり保護者との交流の機会が少なくなった。（子育ての支援の充実 問3）</p>		